

MEIJI  
GAKUIN  
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2016年3月1日

## 明治学院大学教養教育センター主催 講演会 「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」 3月11日（金）開催

明治学院大学教養教育センターは、京都大学高等教育研究開発推進センターの松下佳代教授を迎え、講演会「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」を3月11日（金）に開催します。

今回の講演会は、アクティブラーニングの概要と問題点を理解し、大学の授業においてどのように実践してゆかかを考えることを目的として本学の教職員向けに行います。

近年、アクティブラーニングは大学入試改革と並んで、教育改革を語るキーワードになっていますが、その実践はグループワーク、ディスカッションなどの活動を組み込んだ授業形態というレベルにとどまりがちです。一方、このような学習の形態に対して、学習の質や内容に焦点をあてるディープ・ラーニング（深い学習）の重要性を指摘する声も強まっています。

今回の講演会のテーマであるディープ・アクティブラーニングは、学生が他者と関わりながら、対象世界を深く学び、自分のこれまでの知識や経験と結びつけると同時に、これからの人生につなげていけるような学習のことをさします。それは、どのようにして生起するのか。「深さ」の系譜にはどのようなものがあるのか。ディープ・アクティブラーニングを生じさせやすくするには、どのようなカリキュラム、授業、評価が求められるのか—関連する理論や実践を概観しながら、このような問いについて考えてゆきます。

ぜひ講演会の取材をご検討ください。どうぞよろしく願いいたします。

### 「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」

■日時：2016年3月11日（金）13:30～15:30（開場：13:00）

■場所：明治学院大学 白金キャンパス 2号館 2301教室（東京都港区白金台1-2-37）

■主催：明治学院大学教養教育センター

■講師：松下 佳代（まつした かよ）氏

京都大学高等教育研究開発推進センター教授。京都大学博士（教育学）。専門は教育方法学、大学教育学。

とくに能力、学習、評価をテーマに研究。主な著書に『ディープ・アクティブラーニング』（勁草書房、2015）、

『パフォーマンス評価』（日本標準、2007）、『〈新しい能力〉は教育を変えるか—学力・リテラシー・コンピテンシー—』

（ミネルヴァ書房、2010）など。

取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当：田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165（直通） Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>